令和６年９月６日

日本大学医学部付属板橋病院建替の基本計画策定支援業務に係るプロポーザル

契約概要及び審査概要

《契約概要》

契約件名　　日本大学医学部付属板橋病院建替の基本計画策定支援業務
受注者名　　株式会社石本建築事務所
契約金額　　１５０，０００，０００円（消費税を含む）

《審査概要》

１　審査結果及び受注候補者の選定

本学が，令和６年２月１９日に設置した「日本大学医学部付属板橋病院建替等の設計・監理者選定に係る専門委員会（以下「本委員会」という）」における審査員が評価要領に基づき審査を行い，令和６年８月２１日開催の本委員会において，最も評価点が高い優れた技術提案書等が選定され，見積書の金額が大学の予定価額以下である株式会社石本建築事務所を受注候補者として選定した。

評価点一覧

業者名・企業体名	㈱石本建築事務所	アルキメディカ㈱	㈱内藤建築事務所
理解度，取組意欲，取組体制・実績，コスト管理体制ほか	16.0	8.0	15.0
課 題 １	12.0	8.0	11.2
課 題 ２	12.8	5.6	11.2
課 題 ３	13.6	8.0	12.0
課 題 ４	13.6	7.2	10.4
課 題 ５	12.8	4.8	10.4
合　　計	80.8	41.6	70.2

※評価点は審査員の平均（100 点満点）

２　受注者の決定

本委員会で選定した受注候補者について，令和６年９月６日開催の本学理事会にて受注者として決定した。

３　委員構成

※委員長　　廣　田　直　行　（日本大学生産工学部教授・日本建築学会副会長）
※委　員　　竹　内　　徹　（東京工業大学教授・日本建築学会長）
※委　員　　上　野　　武　（千葉大学名誉教授）
※委　員　　岡　本　和　彦　（東洋大学教授）
※委　員　　吉　野　正　章　（千葉県県土整備部）
委　員　　淺　井　万　富　（日本大学常務理事）
委　員　　上　條　由　美　（日本大学理事・昭和大学副理事長）
委　員　　正　田　純　一　（日本大学管財部長）
※日本建築学会推薦者，設計・監理者選定に係る審査員

4　設計・監理者選定に関する経緯

①令和６年６月　７日　プロポーザル実施の公告
②令和６年６月２７日　５者より質問書を受理
③令和６年７月１１日　５者に質問回答書を配布
④令和６年７月１６日　３者より参加表明書を受理
⑤令和６年７月２５日　３者より技術提案書等を受理
⑥令和６年８月　１日　審査対象者を３者選定
⑦令和６年８月２１日　３者にて審査を実施（プレゼンテーション等）
同　　日　受注候補者の選定

5　審査の詳細

①参加要件及び技術提案書等の確認

事務局が，提出書類（参加表明書等及び技術提案書等）により，参加要件及び提出書類の適不適の確認を行い，本委員会に報告した。

事務局からの報告内容をもとに，本委員会が審査対象者を選定した。

②審査

審査員が，提出書類，プレゼンテーション及び質疑応答の内容について，評価要領に基づき評価・採点を行った。採点結果に基づき，最も評価点が高い優れた技術提案書等と次順位を，本委員会にて選定した。

③技術提案書課題

⑴課題１：基本計画策定支援の実施に関する提案

委託仕様書に記載の業務（基本構想に基づく基本計画の策定支援，基本計画の策定に必要な本学付属病院の現状調査・分析・検討等，設計以降の発注方式に関する検討支援，病院建替に伴う補助金申請の情報収集・検討・行政協議等の支援）に関して，プロポーザル方式により設計業務を発注するために必要な資料の取りまとめを行う，具体的な実施手順，経験に基づく成功体験及び問題を解決した手法等について提案を求める。

⑵課題２：合意形成支援業務の実施に関する提案

委託仕様書に記載の業務（本学付属病院教職員へのヒアリング及び基本計画の策定に当たっての合意形成支援，基本計画の策定に必要な情報共有・意見交換及び合意形成を目的とした会議の提案・進行・調整及び資料作成等の運営支援）に関して，大学及び病院の様々な要望を取りまとめ，合意形成を支援する，具体的なマネジメント方法，経験に基づく成功体験及び問題を解決した手法等について提案を求める。

⑶課題３：病院機能に関する提案

大学医学部付属病院本院及び特定機能病院並びに災害拠点病院としての運営及び将来的な役割を考慮した新病院の機能構成に関して提案を求める。

⑷課題４：配置計画に関する提案

配置計画・ゾーニング計画に関して，計画敷地及び要求条件等を整理し，計画視点を明記した複数案について比較提案を求める。

⑸課題５：独自提案

本業務による成果をより一層高めるために，全体を通じて特筆すべき事項の提案を求める。

以　上

別　紙

講　評

それぞれの提案内容について，大学が提示した課題に対する的確性・実現性・独創性の観点から，審査員の間で議論が交わされた。

審査員の評価点は多少のばらつきがあったものの，５人中４人の審査員が参加者番号No.１に対して総合的に最も高い採点を行った。また，参加者番号No.１及びNo.３の技術提案書等は共に密度が濃く高評価となったが，参加者番号No.１の提案のほうが，より多角的な検討能力に長け，実例を交えながら課題に対して丁寧に提案していることなどが評価され，議論の末，当初の採点結果通りとし，評価点が高い順に技術提案書等を選定した。

ただし，設計・監理者・施工者選定に関わる具体的な支援内容については，３者共に満足のいく提案ではなかったため，今回一位となった企業には，要求条件整理及びコスト管理を徹底し，発注仕様書作成及び工期を見据えた発注方法の検討支援を期待するものである。

各案に対する講評は以下のとおりである。

【最も評価点が高い技術提案書等】

参加者番号No.１　株式会社石本建築事務所

実績や経験の実例を多数記載し，様々な手法を丁寧に提案していることから，業務を進めるうえでの信頼感があり，日本大学に寄り添った合意形成を支援する姿勢が評価された。一例として，タイトなスケジュールの中でワークショップを行い，職員の意識改革及び創意工夫を生かすなどの様々な提案を評価する意見があった。

また，新しい提案を行うための多角的に検討を行う能力を有していること，今後大学から様々な条件が提示された際に，重点課題を見分けられる能力を有していることなどを評価し，最も優れた技術提案書等として選定した。

【次順位の技術提案書等】

参加者番号No.３　株式会社内藤建築事務所

課題５の独自提案について，長期に渡ったマスタープランの検討を行い，今ある資源を少ないコストで将来使用する提案などを高く評価する意見があった。

合意形成支援については，No.１の大学の自主性を促し意思決定したものに協力する姿勢と比較して，提案したものを大学側にオーソライズしてもらう姿勢が感じられ，採点に差がついた旨の意見があった。

【その他の参加者の技術提案書等】

参加者番号No.２　アルキメディカ株式会社

委託仕様書に記載された業務内容に沿って技術提案書を作成しているものの，提案は具体性に欠けた抽象的なものであり，合意形成支援の手法については本事業への的確性に疑問があるため，マイナス評価となった。

医学部付属板橋病院建替等の設計・監理者選定に係る専門委員会　委員長